

輸 送 動 向 に つ い て (11月分)

平成20年12月

1. 輸送概況

今月は、大きな輸送障害もなく、安定した輸送状況で推移した。

荷動きについては、世界的な金融危機の影響を受け、国内の実体経済が急速に冷え込む中、製造業の減産体制がこれまでにない規模に拡大するなど、極めて低調に推移した。

品目別に見ると、コンテナ貨物は、家電・情報機器が前年を上回ったほかは、自動車部品、紙・パルプ、化学工業品など全ての品目が前年を大幅に下回り、全体では前年比91.0%となった。家電・情報機器はメーカーのモダルシフトへの取組みが進展し増送となった。一方、自動車部品、紙・パルプ、化学工業品は需要の低迷による減産体制が更に拡大したことにより、大きく減送となった。

車扱貨物は、石油、セメント・石灰石などすべての品目が前年を下回り、全体では前年比77.7%となった。特に、石油は消費の減退及び価格の値下がりを見越した買い控えのほか、燃料転換の進展もあり、大きく減送となった。

2. 輸送実績

(単位：千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年度累計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,895	2,083	91.0%	15,579	15,494	100.5%
車 扱	919	1,182	77.7%	6,824	7,971	85.6%

3. 品目別輸送実績表

(単位：千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	246	256	-10	96.1%
	化学工業品	171	196	-25	87.2%
	化学薬品	134	149	-15	89.9%
	食料工業品	274	290	-16	94.5%
	紙・パルプ	276	319	-43	86.5%
	他工業品	141	164	-23	86.0%
	積合せ貨物	204	227	-23	89.9%
	自動車部品	69	83	-14	83.1%
	家電・情報機器	37	33	4	112.1%
	エコ関連物資	29	33	-4	87.9%
	その他	314	333	-19	94.3%
	コンテナ計	1,895	2,083	-188	91.0%
車 扱	石油	601	770	-169	78.0%
	セメント・石灰石	128	141	-13	91.3%
	車 両	96	135	-39	70.8%
	その他	94	136	-42	68.8%
	車 扱 計	919	1,182	-263	77.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)